

社長が行つて おくべき 3つのこと もう完了して いますか？

相続・事業承継、
税対策より
優先すべきことがある

■ 65 歳を超えた社長に必ず終えておいて欲しい3つのこと

1 会社の B/S で会社と社長の課題あきらかにする！

流動資産	負債
固定資産	純資産

▶注目点が異なる！
 経営的観点からの B/S
 ↓
 相続・事業承継からの B/S

課題があるのに
見えていない！

2 個人財産の B/S で社長の課題をあきらかにする！

流動性資産	負債
固定性資産	純資産
	相続税額

個人財産の B/S で
社長の課題があきらかになる

65 歳の平均余命は、男性が 21 年、女性は 25 年。

税負担を減らして株を後継者に渡す——
 相続・事業承継で家族にわだかまりを生まない——
 M&A で高い価額で株を譲渡する——
 社長引退後に豊かな時間を過ごす——
 その準備には、10 年くらい時間がかかってしまいます。

3 社長が持つ自社株をいつ、誰に渡すか決める！



いつ誰に渡すかを
決めている社長、決めていない社長
いずれの場合でも課題あり!!
課題の解決方法も検討しておくこと

65 歳を超えた社長は、
「まだ、いいや！もう少し後に」
と言っている場合ではありません。
準備ないまま、予期せず、
突然に社長が亡くなるような事態が生じたら、
すべての人を、危ない状況に巻き込んでしまいます。

徹底的に社長の味方 財産戦略デザイナー®が 社長の財産の戦略を デザインします

財産戦略デザイナー®が
財産の戦略デザインという手法を使って
社長の財産の課題をあきらかにし
その課題の解決を支援します。
社長の『実現したいこと』を実現し、
『心配なこと』を解消します。

社長への提案のほとんどが、商品や仕組みなどのソリューションの提案です。

ソリューションのプラスの効果だけではなく、デメリットなどすべてを知って、その方法を実行していますか？

社長には、社長の事情にあわせた社長の財産の戦略が欠かせません。

その戦略のもとにソリューションを決めていくことが必要です。

戦略ないままソリューションを利用することで、将来に問題が生じてしまうかもしれません。

■財産の戦略デザインの4つの手順

【手順1】

社長の『思い』、社長の財産・家族の『事実』を把握。
デザイナーが整理、分析。

【手順2】

デザイナーが社長の課題を推測し列挙する

【手順3】

社長が解決したいと思う課題を特定する

【手順4】

デザイナーが課題解決までのロードマップを作成する



お客様(社長)



財産戦略デザイナー®

まずは、簡易診断と無料面談を！
5つの項目について
3つの質問に答えると、
社長の課題が見えてきます。

財産戦略デザイナー®とは

財産の管理・運用、相続、事業承継におけるお客さまの目的を達成するため、それぞれのお客さまに合わせた「財産の戦略デザイン」を作ります。財産戦略デザイナー®は、株式会社継志舎が実施する認定講座を受講、認定テスト合格者に対して認定しています。

株式会社継志舎
<https://keishisha.com>



【財産戦略デザイナー®】